

力をあわせて描くクラス人物マップ！

田崎丈晴 高橋正憲
(東京都立大泉高等学校)

都立大泉高校(全日制)

- 練馬区にあります
- 23区で一番広い
- 普通科・共学
- 1学年7クラス規模
- 自主創造が校訓



- 文・理分けなしの教養主義カリ
- 部活がとても盛ん(同好会等含め43)
- 現役+1浪の約90%が大学・短大等へ進学

本校情報科カリキュラム(H20)

- 情報A(必修科目, 2学年, 2単位)
- アルゴリズム(選択科目, 3学年, 2単位)
- 総合的な学習の時間(3学年, 2単位×2)

今回は「情報A」での実践を報告

現行指導要領・普通教科「情報」

- 情報A
– 情報を主体的に活用する力
- 情報B
– 情報の科学的理解
- 情報C
– 情報社会に参画する態度

次期指導要領・普通教科「情報」

- 教科「情報」を学ぶための基礎的な力
– 情報活用の実践力
- 基礎を活かして学ぶことがら
– 情報の科学的な理解
 - 情報の科学
- 情報社会に参画する態度
 - 社会と情報

もうちょっと詳しく

- 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」(答申) 中教審, 2008年1月17日
- 「活用力」についての記述は・・・

“答申”での「活用力」記述

- 上記の科目を通じて、情報通信ネットワークやメディアの特性・役割を十分に理解し、安全に配慮し、情報を適切に活用できる能力をはぐむ指導をより一層重視する。
- また、情報通信ネットワークや様々なメディアを活用して、新たな情報を創り出したり、分かりやすく情報を表現したり、正しく伝達したりする活動を通して、合理的判断力や創造的思考力、問題を発見・解決することができる能力をはぐむ指導をより一層重視する。

新カリを意識した計画(情報A)



- 発表で情報伝達
- 発想法・思考法
- COM動作原理
- 問題解決
- デジタル化
- 発想法・思考法
- 映像制作
- ネットワーク
- 図解表現
- プロジェクト
- 年間まとめ
- 人とCOMの違い
- メディア学習

年間の基礎

思考力 判断力 課題解決力

1学期の組み立て

- ワークショップでやってみる(失敗してもよい)
 - 発表を通して情報を伝達する力
 - KJ法的手法で情報を整理・分類する力
 - 図解制作を通して情報表現力
 - グループワークを通してコミュニケーション力や課題解決力
- ワークショップ後の座学と実習で内容を整理

1学期ワークショップ 「みんなで作る人物MAP」

- 対象:クラス替え直後の「情報A」受講生
- 目標:
自己紹介で得た膨大なデータをイメージ化
- 方法: KJ法的な分類と関連付けを手作業で
 - データの分類や図解のレイアウト
 - グループでコミュニケーションとって問題解決
 - 図解の制作

第1回 自己紹介をしよう

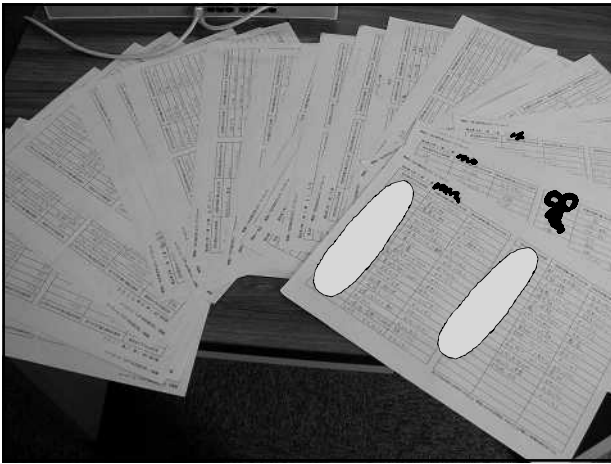
- 普通教室で実施
- 要点は「欠席者へのプリント」の通り(板書で説明)
- 50秒～1分10秒で話をまとめる
- 黒板とチョークは自由に使ってよい

自己紹介の書き取りシート

情報A「自己紹介をしよう」ワークシート

提出者:2年 組 番氏名

自己紹介した人の名前	内容で印象に残ったこと1点	どんな人に見えたか?



顔が ^{!!} み ^{!!} てる(王 ^{!!} 様 ^{!!})	かわいい
美術 ^{!!} 部 ^{!!} !! 王 ^{!!} 様 ^{!!}	かわいい
女子 ^{!!} サ ^{!!} カ ^{!!} ー	かわいい
コ ^{!!} ピ ^{!!} が ^{!!} 上 ^{!!} 手	しげ ^{!!} お ^{!!} !!
読 ^{!!} 書 ^{!!} 趣 ^{!!} 味	カ ^{!!} レ ^{!!} ン ^{!!} ソ ^{!!} ウ
名 ^{!!} 前 ^{!!} だ ^{!!} け ^{!!} !!	かわいい
健 ^{!!} 壯 ^{!!} だ ^{!!} て ^{!!} 南 ^{!!} 犬	おも ^{!!} ろ ^{!!} そ

ト ^{!!} ラン ^{!!} ベ ^{!!} ット	挙 ^{!!} 動 ^{!!} 不 ^{!!} 審 ^{!!} ?
髪 ^{!!} の ^{!!} 毛 ^{!!} が ^{!!} 長 ^{!!} い	静 ^{!!} か ^{!!} な ^{!!} 人
人 ^{!!} 見 ^{!!} 知 ^{!!} り	ち ^{!!} よ ^{!!} と ^{!!} 暗 ^{!!} く ^{!!} な ^{!!} い?
ピ ^{!!} ア ^{!!} ノ	ミ ^{!!} ス ^{!!} ター ^{!!} ・ピ ^{!!} ア ^{!!} ノ
鼻 ^{!!} 声 ^{!!} ・メ ^{!!} ガ ^{!!} ネ	鼻 ^{!!} メ ^{!!} ガ ^{!!} ネ
赤 ^{!!} い ^{!!} メ ^{!!} ガ ^{!!} ネ	意 ^{!!} 外 ^{!!} と ^{!!} 毒 ^{!!} 舌 ^{!!} ?
意 ^{!!} 外 ^{!!} と ^{!!} 声 ^{!!} が ^{!!} 低 ^{!!} い	応 ^{!!} 援 ^{!!} 団
ソ ^{!!} フ ^{!!} ト ^{!!} テ ^{!!} ニ ^{!!} ス	な ^{!!} ん ^{!!} か ^{!!} テ ^{!!} ニ ^{!!} ス ^{!!} 上 ^{!!} 手 ^{!!} そ ^{!!} う

自己紹介を終えて・・・

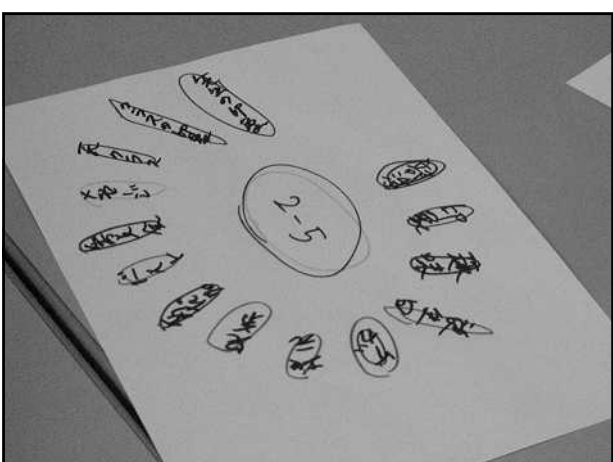
- マイナス語は書かないルール効果あり
- 冒険する配慮する無難にいくいろいろ
- 具体的記述する生徒の多くは話し上手か
- 「空欄多数」が数人
- 40枚のワークシートに40人分のデータが!
- 次の実習以降まとめる作業に

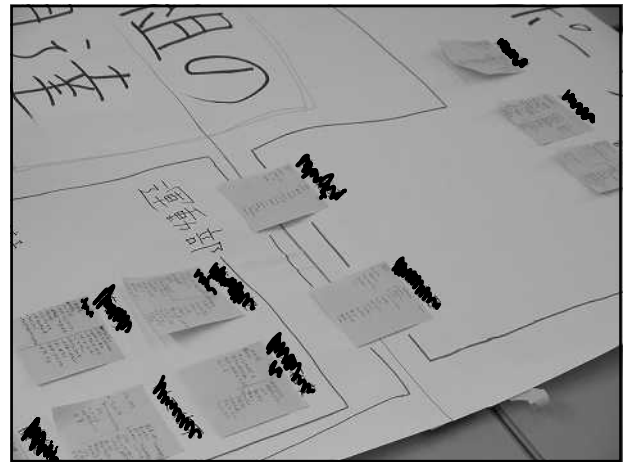
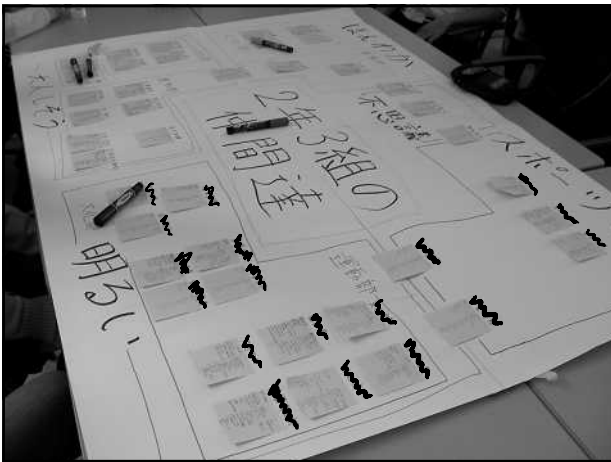
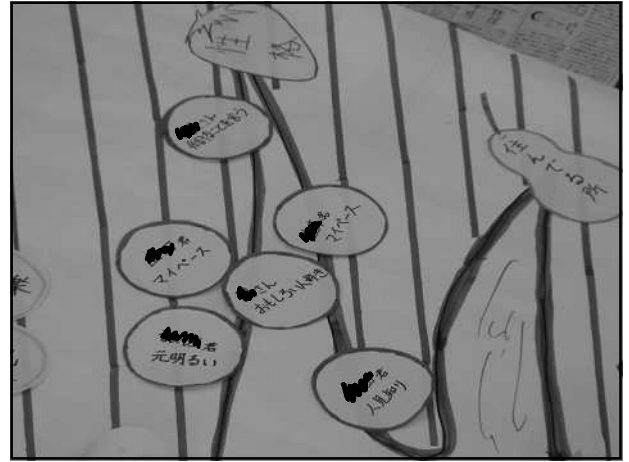
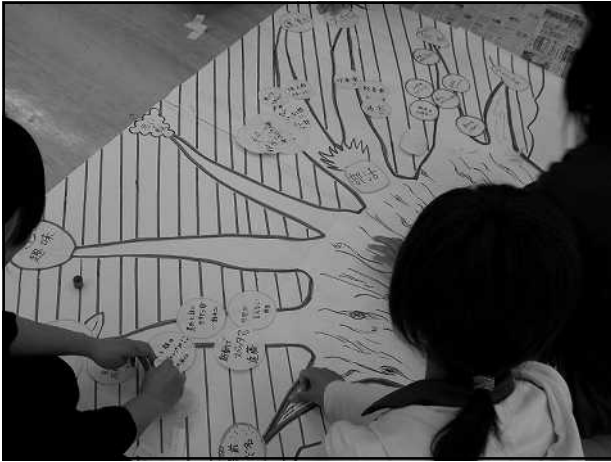
10人1組で人物マップ制作

- 分類テーマ決め
 - ひとりひとりまとめ→人物を分類
 - 自己紹介で話されたこと中心に分類
 - 聞き手がもった印象を中心に分類
- 注意点
 - 結果的に「人物」のイメージがわかること
 - 図に「タイトル」、「章」、「節」のような構造あること
 - 数の大小や強調すべき点はアピールすること

指導上の留意点

- 自己紹介書き取りシート提出者名切り取り
 - 「これ誰が書いたんだよー」防止
- 作業する教室を普通教室と会議室で展開
 - ネタばれ防止
 - 作業スペースの確保
- “離脱者”への指導(手が空く = 非効率)





発表

- 発表の方法
 - 2チームずつポスターセッション形式で発表
 - 1セッション15分で発表
 - 発表後、聴く側のチームが付箋を貼って評価
- 発表の手順
 - 作戦会議(25分)
 - 発表準備(5分)
 - 前半チームの発表(15分)
 - 付箋貼り付け&発表者入れ換え(5分)
 - 後半チームの発表(15分)
 - 付箋貼り付け(5分)

発表の評価

- 生徒の評価
 - 「教員評価シート」の観点で生徒が評価
 - 付箋に評価を一言で書いて作品に貼り付け
 - 今回は評価の練習で作品の評価にしない
- 教員の評価
 - 「教員評価シート」の観点に基づき評価
 - 教員は作品と発表について評価し、コメントする
 - 最終的に、「金」、「銀」、「銅」の賞のどれかが決定



まとめ 実習の成果

- 1学期半ばにして2回の発表を経験
 - コミュニケーション力
- 話し合っでの意思決定
 - 問題解決の基礎
 - KJ法的な手法をてがかりにアイデアを発想
- 情報の分類はコンピュータでできる？
 - 情報を整理・分類は脳にはかなわない
 - アルゴリズムを考えているのは結局人間
- 以降の座学の事前学習としての役割果たせた